

理科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 化学演習	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	4単位	第3学年	教科書：高等学校化学（第一学習社） 図説：スクエア最新図説化学（第一学習社）
学習の到達目標	大学入学に向け、入試問題演習を積み、応用的な力を身につける。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの
- D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期中間	総合演習	大学入学共通テスト対策の問題演習を行い、実践力をつける。	・総合演習では、プリントを配付する
一学期期末	総合演習	入試問題の演習を行い、実践力をつける。	・総合演習では、プリントを配付する

二学期 中間	総合演習	入試問題の演習を行い、実践力をつける。	・総合演習では、プリントを配付する
二学期 期末	総合演習	入試問題の演習を行い、実践力をつける。	・総合演習では、プリントを配付する
学期 末			
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			授業内問題
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			授業内問題・授業内考査
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			授業内考査